

06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
01創意ある学校教育の推進	B	<p>目標値に達していない指標があるものの、ふるさと学習を取り入れるなど、各小中学校の独自性を持った多様な学習推進が概ね達成されています。また、学校給食の実施においては、地場産物の活用率は目標を達成しており、今後も地元産食材の活用を推進してまいります。</p>	<p>学校・保護者・地域の人々により、連携・協力しながら地域の教育力を活かした学校づくりを推進します。語学指導においては、新学習指導要領や国・県の動向を踏まえ、事業推進を図ります。地元産食材のさらなる活用を目指します。</p>
2学校施設の整備・充実	B	<p>ICT環境整備について、平成30年度にタブレット整備を全中学校で完了し、効果的な教育環境づくりが達成できました。</p>	<p>小中学校の適正規模・適正配置等を推進することで、児童生徒のより良い学習環境や生活環境、人間関係の構築を目指し、望ましい教育環境の整ったまちを目指します。また、令和元年度には小学校においてタブレット整備が全校完了となる予定です。</p>
3生涯学習の推進	B	<p>生涯学習情報の収集や提供を行うことで、生涯学習の推進を図っております。市民の「生きがい」創出や、知識・経験とともに豊富な地域の人材を大いに活用し、社会還元型の生涯学習を推進します。</p>	<p>市民が生涯いきいきとした生活が送れるための事業を実施するとともに、幅広い年齢層への広報活動を促進します。</p>
4生涯スポーツの推進	B	<p>石岡運動公園で大規模改修工事があり使用禁止期間が発生したため、利用人数が減少していますが、施設の利便性としては向上しています。 少子化の影響により、青少年スポーツ大会参加人数が下降傾向にあります。 新規に開催した水中ウォーキング教室が好評であり、定員以上の申込みがあったため、令和元年度は開催回数を増やしています。</p>	<p>多種多様な市民からのニーズに応えられるように、施設の維持管理・環境整備や開催イベントの改善を行っていきます。</p>

06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
5文化・芸術の推進	B	<p>市民が文化芸術に親しみ、創る人・観る人が創造性豊かな地域文化の向上を図るうえで、一定の役割を果たしています。また、自主的に文化芸術活動を行う団体を支援するために、様々な活動に参加する機会の充実を図りました。</p>	<p>市民会館個別施設計画の期限内に整備を図り、地域文化施設の拠点となるよう運営に取り組みます。また、文化芸術振興基本計画を策定し、市民や文化芸術活動団体への支援や機会の提供に努め、文化芸術の活性化を図っていきます。</p>
6青少年の健全育成	B	<p>青少年が健やかに成長することを目指し、青少年の健全育成のため各種事業を実施しています。家庭、学校、地域と連携をとりながら、活動体制を充実や社会環境の健全化活動により、地域に根ざした青少年健全育成活動を推進しています。</p>	<p>青少年が心身ともに健やかに成長できるよう、地域に根ざした各青少年関連団体活動の推進に努めていきます。</p>
7歴史・文化財の保護・活用	B	<p>発掘調査経費、文化財保護保存及び普及経費については計画的に進めることができました。指定文化財及び国登録文化財数は144件となり目標を達成しています。また、市民満足度調査の数値も昨年より改善されています。今後も企画展や文化財調査報告会の開催を通し活用をはかってまいります。また、養成講座の開催等を通して歴史ボランティアの会の会員に関しても継続して充実をはかります。</p>	<p>開発地や重要遺跡の発掘調査を進めるとともに、個々の文化財の特性に応じた保護・活用に取り組みます。</p>

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	O6歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	O1創意ある学校教育の推進
具体的取り組み例	特別講師による多種多様な学習活動の推進，地元産の食材を活用した学校給食の実施

1 総括評価

B	総括評価
	目標値に達していない指標があるものの、ふるさと学習を取り入れるなど、各小中学校の独自性を持った多様な学習推進が概ね達成されています。また、学校給食の実施においては、地場産物の活用率は目標を達成しており、今後も地元産食材の活用を推進してまいります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	学校・保護者・地域の人々により、連携・協力しながら地域の教育力を活かした学校づくりを推進します。語学指導においては、新学習指導要領や国・県の動向を踏まえ、事業推進を図ります。地元産食材のさらなる活用を目指します。

2 主要事業の概要

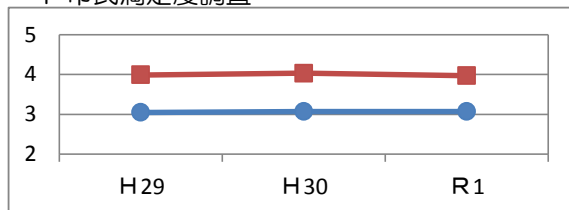
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
語学指導事業【教育総務課】	中学校における英語教育の充実を図るため、市内5中学校にAETを派遣しています。小学校は、5・6年生を対象としていた外国語活動が、平成30年度から小学校3・4年生にも導入されたため、AETを2人増員し、派遣しています。
学校いきいきプラン推進事業（小・中学校）【教育総務課】	各学校の独自性を生かした教育の実施が達成されている。より質の高い事業内容となるよう各校で研究を深めるとともに、経費の削減を踏まえた効率的な事業実施が必要である。
八郷給食センター調理業務経費【学校給食課】	継続して衛生管理の徹底及び衛生教育を実施することで、今後も安心・安全な給食の提供を実施します。
石岡給食センター調理業務経費【学校給食課】	今後もより一層の衛生管理と衛生教育を実施します。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
いきいきプラン推進事業の事業数	いきいきプラン推進事業の事業数	回	215 (H28)	230	239
英語に興味を持つ児童数の割合（小学校）	英語でもっと会話をしたいと思う児童数の割合	%	93.4% (H28)	95	87.0
英会話県南地区予選最終選考進出生徒数(中学校)	インタラクティブフォーラムの地区予選最終選考に進出した生徒数	人	0 (H28)	4	0
学校給食における地場産物の活用	地場産食材数/総食材数	%	53.7 (H29)	59.0	67.0

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.05	3.99
平成30年度調査	3.07	4.03
令和元年度調査	3.07	3.97

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	02学校施設の整備・充実
具体的取り組み例	学校施設の改修工事，ICT化，小中学校への空調設備の導入

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	ICT環境整備について，平成30年度にタブレット整備を全中学校で完了し，効果的な教育環境づくりが達成できました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	小中学校の適正規模・適正配置等を推進することで，児童生徒のより良い学習環境や生活環境，人間関係の構築を目指し，望ましい教育環境の整ったまちを目指します。また，令和元年度には小学校においてタブレット整備が全校完了となる予定です。

2 主要事業の概要

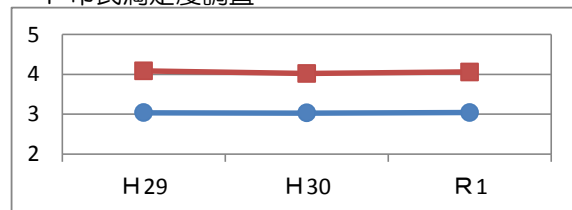
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
学校管理運営経費（小・中学校）【教育総務課】	限られた予算内で，事業の目的を達成することができた。今後も継続する必要があるが，随時，事業費の削減余地について検討を要する。
保健衛生管理経費（小・中学校）【教育総務課】	生徒の健康の維持増進は一定の成果を上げており，今後も事業の継続が求められる。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
適正規模の学校で学ぶ児童生徒比率	適正規模の学校で学ぶ児童生徒数÷児童生徒総数	%	66.52 (H29)	74.1	69.4
教育用タブレット端末の導入	教育用タブレット端末導入校数÷市内小中学校数	%	16 (H29)	100.0	29

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.04	4.09
平成30年度調査	3.03	4.02
令和元年度調査	3.04	4.06

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	03生涯学習の推進
具体的取り組み例	公民館での各種講座・学級の開催，図書館の利用促進

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	生涯学習情報の収集や提供を行うことで，生涯学習の推進を図っております。市民の「生きがい」創出や，知識・経験とともに豊富な地域の人材を大いに活用し，社会還元型の生涯学習を推進します。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	市民が生涯いきいきとした生活が送れるための事業を実施するとともに，幅広い年齢層への広報活動を促進します。

2 主要事業の概要

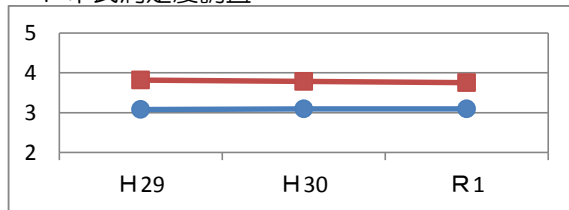
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
中央図書館管理運営経費【生涯学習課】	利用者のニーズに沿い，安全性に配慮した図書館運営を行うとともに，利用者の利便性向上に向けた取り組みを行います。
中央公民館管理運営経費【中央公民館】	市民が生涯いきいきとした生活が送れるよう，各種講座・学級等を開催し，学習の機会を提供します。利用しやすい施設を目指し，施設環境を整備するとともに，利用者の拡大を図ります。
放課後子ども教室推進事業【生涯学習課】	地域の協力者，ボランティア及び学校と連携して事業を実施し，子どもたちの社会性，自主性，創造性等の豊かな人間性をかん養することができました。また，市内全校での実施と，放課後児童クラブに入所する児童も含めて希望者全員が参加でき，効率的な運営ができるよう石岡市放課後子どもプラン運営委員会において民間委託の是非を含む検討を進めています。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
市民講師講座参加者数	市民講師講座参加者数	人	8,280 (H28)	9,500	11,102
公民館の年間利用者数	同好会・講座等で公民館を利用した人数	人	52,461 (H28)	53,100	53,362
図書館の年間利用者数	図書資料等の年間借受者数	人	80,648 (H28)	84,000	76,408
放課後子ども教室参加者数	放課後子ども教室に参加する児童数	人	718 (H28)	780	522

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.08	3.82
平成30年度調査	3.09	3.78
令和元年度調査	3.09	3.75

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	04生涯スポーツの推進
具体的取り組み例	つくばねマラソンなどのイベントの実施，ニュースポーツの推進

1 総括評価

B	総括評価
	石岡運動公園で大規模改修工事があり使用禁止期間が発生したため、利用人数が減少していますが、施設の利便性としては向上しています。 少子化の影響により、青少年スポーツ大会参加人数が下降傾向にあります。 新規に開催した水中ウォーキング教室が好評であり、定員以上の申込みがあったため、令和元年度は開催回数を増やしています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	多種多様な市民からのニーズに応えられるように、施設の維持管理・環境整備や開催イベントの改善を行っていきます。

2 主要事業の概要

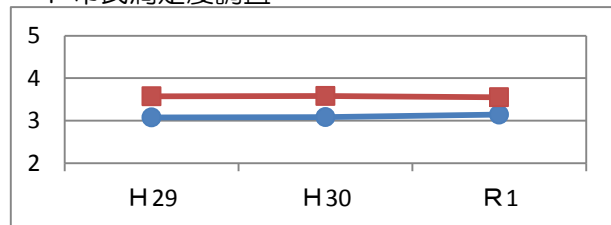
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
スポーツイベント事業【スポーツ振興課】	市民の体力向上と豊かな心を育むためにスポーツイベントの充実に努めるとともに、市外からの参加者に対して石岡市の魅力を発信します。また、マラソンイベントに関しては更なる参加者を獲得するために、ハーフマラソンの具体化を検討します。
体育振興活動経費【スポーツ振興課】	各スポーツ団体等へ大会・教室等の開催を依頼し、スポーツの普及振興を図ってきました。今後も社会情勢の変化や市民ニーズを的確に捉え、ニーズに応えられる事業選定をするなど、更なるスポーツの推進に努めていきます。
国体準備経費【スポーツ振興課】	国体開催に向け、大会運営・競技の準備を進めています。令和元年は、バドミントンの本大会及び各デモンストレーションスポーツを開催し、開催後は大会報告書を作成します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30(実績値)
スポーツ施設利用人数	スポーツ施設を利用した延べ人数	人	315,170 (H28)	346,600	266,102
青少年スポーツ大会参加人数	各競技の青少年スポーツ大会参加延べ人数	人	2,463 (H28)	2,463	2,245
スポーツ推進事業参加者数	スポーツ推進教室参加延べ人数	人	640 (H28)	760	697

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.08	3.58
平成30年度調査	3.08	3.58
令和元年度調査	3.14	3.55

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	05文化・芸術の推進
具体的取り組み例	美術展・芸術祭・文化祭などの開催，文化活動支援

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	市民が文化芸術に親しみ，創る人・観る人が創造性豊かな地域文化の向上を図るうえで，一定の役割を果たしています。また，自主的に文化芸術活動を行う団体を支援するために，様々な活動に参加する機会の充実を図りました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	市民会館個別施設計画の期限内に整備を図り，地域文化施設の拠点となるよう運営に取り組みます。また，文化芸術振興基本計画を策定し，市民や文化芸術活動団体への支援や機会の提供に努め，文化芸術の活性化を図っていきます。

2 主要事業の概要

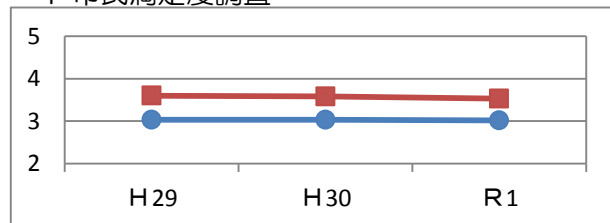
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
施設運営経費【市民会館】	利用者のニーズに沿い，安全性に配慮した市民会館運営を行うとともに，利用者の利便性向上に向けた取り組みを行います。
芸術・文化振興事業【文化振興課】	これまで文化芸術団体や市民を連携をはかりながら，市民の自主的な文化芸術活動の展開に取り組んできました。現在，将来の世代にわたり地域の文化や伝統を守り育てるため，市民の自主的で個性的な文化活動を支援するとともに，その担い手である市民の意見が反映された文化芸術振興基本計画の策定に取り組んでいます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
市民会館施設利用回数	ホール・会議室の利用回数	回	2,522 (H28)	2,600	2,424
市民会館施設利用者数	ホール・会議室等（8室）の利用人数	人	67,803 (H28)	68,000	69,844
石岡市美術展の開催	石岡市美術展の来場者数	人	964 (H28)	1,500	920
文化協会の育成	文化協会の加盟団体数	団体	35 (H28)	35	34

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.04	3.60
平成30年度調査	3.03	3.58
令和元年度調査	3.02	3.53

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	06青少年の健全育成
具体的取り組み例	青少年相談員による街頭活動などの補助・支援，青少年を育てる会の活動補助

1 総括評価

B	総括評価
	青少年が健やかに成長することを目指し，青少年の健全育成のため各種事業を実施しています。家庭，学校，地域と連携をとりながら，活動体制を充実や社会環境の健全化活動により，地域に根ざした青少年健全育成活動を推進しています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	青少年が心身ともに健やかに成長できるよう，地域に根ざした各青少年関連団体活動の推進に努めていきます。

2 主要事業の概要

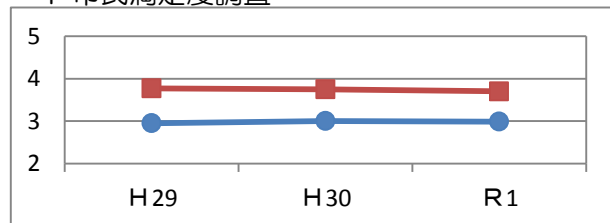
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
青少年育成事業【生涯学習課】	青少年相談員の街頭巡回活動は定期的実施されているが，仕事をもつ相談員の活動参加が難しいため，活動へ参加できるような事業計画を検討していく必要があります。
子ども会育成事業【生涯学習課】	年々子ども会加入児童数は減少傾向ですが，児童の健やかな成長に大切な役割を果たしている子ども会事業について，引き続き支援をしていく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
青少年相談員街頭活動回数	青少年相談員及び特別青少年相談員の街頭活動回数	回	68 (H28)	70	67
青少年を育てる石岡市民の会事業数	青少年を育てる石岡市民の会が開催する事業数	回	6 (H28)	7	5
石岡市子ども会育成連合会事業数	石岡市子ども会育成連合会が開催する事業数	回	5 (H28)	6	5
青少年ボランティア活動回数	青少年ボランティア団体がボランティア活動をした回数	回	14 (H28)	15	12

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.95	3.77
平成30年度調査	3.00	3.75
令和元年度調査	2.99	3.70

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	07歴史・文化財の保護・活用
具体的取り組み例	文化財継承のための修理支援，文化財の有効活用

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	発掘調査経費，文化財保護保存及び普及経費については計画的に進めることができました。指定文化財及び国登録文化財数は144件となり目標を達成しています。また，市民満足度調査の数値も昨年より改善されています。今後も企画展や文化財調査報告会の開催を通し活用をはかってまいります。また，養成講座の開催等を通して歴史ボランティアの会の会員に関しても継続して充実をはかります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	開発地や重要遺跡の発掘調査を進めるとともに，個々の文化財の特性に応じた保護・活用に取り組みます。

2 主要事業の概要

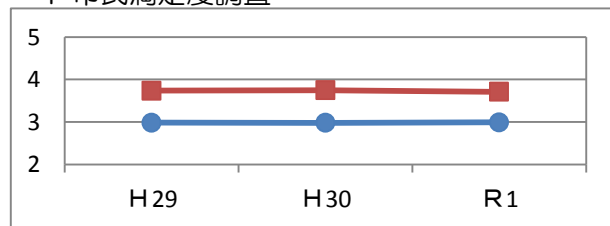
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
発掘調査経費【文化振興課】	平成30年度は全体的な件数は例年よりやや多いといえます。発掘調査は大変重要な事業であることから，今後も事業を現状維持で実施します。ただし，依然として，全ての開発を抑え切れている状況ではないため，今後はより活用をはかることにより，文化財の重要性を市民に広げていきます。茨城郡家推定地である外城遺跡の調査を行い茨城廃寺跡とともに国指定化を目指します。
文化財保護保存及び普及経費【文化振興課】	文化財の保護保存及び活用事業は，今後ますます重要度が増すと思われることから，積極的に普及啓発の推進をはかっていきます。また，国指定文化財については，順次保存活用計画の策定を進めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
指定文化財及び登録文化財	国・県・市指定文化財及び登録文化財件数	件	142 (H28)	143	144
歴史ボランティアの会会員	歴史ボランティアの会会員数	人	23 (H28)	27	26

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.98	3.74
平成30年度調査	2.98	3.75
令和元年度調査	2.99	3.71